



代表の渡邊氏(中央)

経営概要

- ◆ 代表者、所在地
渡邊裕介、岐阜県羽島市
- ◆ 設立年
令和4年4月
- ◆ 経営規模
水稲 65ha (主食用米 51ha、飼料用米 14ha)
- ◆ 従業員数
役員2名、正社員1名、パート・アルバイト2名
- ◆ 事業内容
米の生産・販売、水稲農作業受託に取り組む。

1 現状及び相談内容

渡邊氏の実家は、水稲を中心とした家族経営を行っていた。他産業に従事していた渡邊氏は、父親が高齢となったことや、自分のペースで働くことが出来る農業に魅力を感じたことから、令和元年に実家の経営に加わった。

これにより、**経営の可視化、社会的信用度を向上させたい**と考え、令和4年1月に法人化の相談があった。

2 支援内容

中小企業診断士による**経営診断**を実施した。兄弟での法人設立に向け、税理士が出資額の決定方法や資産の移動について、司法書士が**定款作成について支援**した。従業員の雇用にあたり、社会保険労務士から、会社が負担する**社会保険料など基本的な事項の確認や給与の設定方法、就業規則の策定などを支援**した。

3 人材の確保・育成に資する取組

★ 農繁期と農閑期に応じた柔軟な勤務時間を設定することで、作業の効率化等が進み、他産業並みの給与を実現

■ 異業種から従業員を確保

従業員を雇用するにあたり、農繁期と農閑期を踏まえた年間労働時間の設定や給与の支払い方法などについて、社会保険労務士から助言を受けた。

雇用予定の従業員に**他産業並みの給与額を設定**した。また、**1年を4期に分けて勤務時間を設定し、年間労働時間を抑えられるよう工夫**した。

■ 意識の変化と休日の取得

法人化と従業員の雇用により、**曖昧だった勤務時間を明確にし、より一層作業の効率化に努めた**。

その結果、**農閑期にまとめて休日を取得することが出来るようになり、収量・収益も向上**した。

■ 就業規則の作成

従業員雇用2年目に向け、労働条件を再度検討し、改善し、就業規則を作成した。



米の品質を確認する渡邊氏

今後の意気込み

スマート農業機械の導入により、安定した収量の確保や従業員の負担軽減に努める。労務管理を徹底し、年間110日の休日が取得出来るホワイト企業を目指す。

10年後には現在の2倍に経営規模を拡大し、新たな従業員を確保するとともに、将来は地域ごとに子会社をつくり、従業員をその社長にして経営を任せていきたい。

専属スタッフ所感

雇用前に労働条件をよく検討することで、雇用の定着につながっている。

今後は更なる従業員の雇用に向け、将来に向かって処遇の検討や、キャリアパス表の作成等も必要と考えられる。